

平成 30 年 5 月 26 日

平成 29 年度 学校法人 アルウィン学園 事業報告

1. 学園概要

設立 大正 5 年 (1916) 2 月

設置する部門 (2 部門)

育成部門	玉成保育専門学校	校長	高橋かずみ
保育部門	こどもの木かげ	所長	大塚兼司
	玉成幼稚園	園長	田口裕子
	野のはな空のとり保育園	園長	佐久本宏美

学生定員及び在籍生徒・園児数

	学則定員	在籍数 (H29,5/1)	在籍数 (H30,3 月末)
玉成保育専門学校 保育専門課程 保育学科	100 名 (~H29.3/31 140 名)	93 名 (1 年 60,2 年 33)	89 名 (1 年 57, 2 年 32)
玉成幼稚園	270 名	228 名 (少 76 中 74 長 78)	224 名 (少 74 中 73 長 77)
野のはな空のとり 保育園	30 名	35 名 (9,12 ,14)	35 名 (9, 12,14)

教職員数

括弧内は平成 28 年度

	専任教員	専任職員	非常勤	パート	派遣職員
法人		4 名 (4)			
こどもの木かげ	1 名 (1)				
玉成保育専門学校	4 名 (4)	0 名 (1)	1 名 (1)	2 名 (0)	0 名 (1)
玉成幼稚園	17 名 (18)		2 名 (0)	15 名 (15)	
野のはな空のとり保育園	17 名 (17)		0 名 (2)	9 名 (11)	

法人役員・評議員 (H30, 3 月末)

	定員	実人員
理事	8 名	8 名
監事	2 名	2 名
評議員	17 名	17 名

理事長	大塚兼司
理事	国分紀之、今関公雄、小倉 昇 田口裕子、高橋かずみ、佐久本宏美、安田淳一
監事	阿部豊太郎、勝間田清一
評議員	大塚兼司、国分紀之、今関公雄、小倉 昇 花井 香、加藤正克、西川 涼、佐藤智子、茂井万里絵 田口裕子、高橋かずみ、佐久本宏美、安田淳一、藤岡郁子 原田麻衣子、宮岡美雪、黒田康子
委嘱医師	森谷泰和（玉成保育専門学校） 森谷 亨（玉成幼稚園・野のはな空のとり保育園）
薬剤師	三澤全美

2. 事業の概要

平成 29 年度運営計画における①基本方針、②運営方針、③教育方針 に基づき、以下のとおり、（１）教育内容の充実 （２）施設・設備等教育環境の充実 に努めた。

（１）教育内容の充実

計画当初の教育方針に従い、各部門ともに本学園の特色を生かした創立者アルウィン先生の建学の精神に沿い、キリスト教精神に基づいた教育に努めた。

【育成部門】

《玉成保育専門学校》

① 「玉成保育専門学校運営委員会」の設置

平成 29 年 1 月に、5 名の外部委員全員出席の下、第 1 回玉成保育専門学校運営委員会を開催した。運営委員長・副委員長の選出、運営委員会規則、学校評価実施規程の確認の後、今後の本校における保育者養成について、有意義な意見交換の時を持つことができた。今後は、年 2 回の開催を予定しており、今年度はカリキュラム編成、今後の保育者養成について検討をしていく。

② 「学校評価」の実施

上記の第 1 回玉成保育専門学校運営委員会において、学校運営委員会をもとに「自己評価委員会」を設置し、自己評価（学校評価）を実施した。

「自己評価委員会」において実施した評価は、「玉成保育専門学校運営委員会」で、「関係者評価」を外部委員も加えて行うことを確認した。年度内には実現できなかったため、平成 30 年度に確実に実施していく。

③ 「アルウィン保育ネットワーク（仮称）」の設置

実習指定園・実習協力園を定め、本校ならではの保育者養成のシステムを強化することとして「アルウィン保育ネットワーク（仮称）」の設置を考えていたが、設置にはいたらなかった。しかしキリスト教保育の授業や吹奏楽の演奏のボランティア、夏祭りの手伝い、就職活動などを通して、将来の「実習指定園・実習協力園」と密接に関わることができた。

④ 玉成保育専門学校 防災マニュアルの検討

学校独自の防災マニュアルを作ることはできなかったが、備蓄については平成 30 年より学生個人が購入し卒業時に持ち帰ることとした。

⑤ 専門分野の研究課題を深めると同時に、「創立 100 周年 研究紀要」の発行

専任教員の途中退職等もあり、多忙な中、研究をすすめるのは困難であったが、専任教員 2 名が専門分野における研究活動を行い論文にまとめ、保育学会第 71 回大会で発表を行った。

「創立 100 周年研究紀要」については、引き続き準備をすすめる。

【保育部門】

《 こどもの木かげ 》

① 第Ⅱ期園庭整備

園庭の動的な空間と緑陰の空間が充実し、子どもたちのあそびがより豊かになった。また、四季折々の自然の変化から、子どもたちの感性が豊かに育まれるようになった。近隣への配慮として砂塵が飛ばないように園庭を改修したことで、雨や雪の後の水はけもよくなり、雨上がりにはすぐに園庭であそぶことができる。保護者や近隣の住民からも高い評価を受けた。今後、芝生のスペース内への園児の出入りに関してはさまざまな配慮が必要であり、更によりよい園庭づくりを目指していく。また、園庭の植栽の管理は職員が意識をもって取り組んでいくことが必要である。

② 園運営について「学校関係者評価」の実施

所長・園長・主任とで自己評価をおこなった結果に対して、「こどもの木かげ運営委員会」において、学校関係者評価を受けた。保育園、幼稚園共に、個々の評価項目は概ね達成され、とりくみ状況は良好であると評価していただいた。今後は更に質の高い保育を目指すとともに、自己評価の項目について見直しを行っていく。

③ マニュアルの改訂をおこない、こどもの木かげとして、業務の標準化を図ること

現状のマニュアルの見直しをおこない、こどもの木かげとして、共通のマニュアルの改訂案を作成してきたが、更に見直しを行う項目について訂正をし、職員間に周知し、業務の標準化を図る。

④ 地域支援事業の充実

それぞれの事業も、定着してきた。「ふたつの芽」「親子ひろば」については、幼稚園につながりたいという思いの方が参加し、幼稚園の方針や子どもたちのあそび、職員の対応等を直接感じることで入園につながった。「妊娠中のお母さんの子育て体験プログラム」「講座ぼるた」については、参加数は多くないが参加した方は、満足していた。今後は、地域の方々のニーズに応えていくために質をどう高めていくかが重要である。

⑤ こどもの木かげとして幼保一元化の体制の準備をすすめていく

新制度の認定こども園について、東京都私立幼稚園連合等で行われた研修に参加し都内園の動向について聞くことができた。

今後は、公定価格についての動向をチェックし、現状の補助金額との差異を比較しながら運営のあり方を探っていく。

《 玉成幼稚園 》

① 保育の一体化（短時間保育・長時間保育）にとりくむ

短時間保育・長時間保育の職員が、一緒に保育計画（カリキュラム）についての会議をすることでより理解を深め、共通理解を図っていくことができた。特に、長時間保育担当職員が、短時間保育の時間に保育に関わるように工夫したことで、所属クラスでの生活と合わせて11時間を考えての保育をより展開できるようになった。

今後は、全職員で短時間保育と長時間保育の整合性と共に、短時間保育の子どもたちと長時間を園で過ごす子どもたちの生活、あそび・活動の違いを再確認し保育のあり方を考えていく。

② 園の保育方針に沿った保育活動の再確認をおこない、保育の質の向上につなげる

年度当初に「こどもの木かげ」のコンセプトや幼稚園の保育方針等を確認する機会をもつことができ、保育で大切にしていきたい視点を明確にしてスタートすることができた。今後は、年度当初のみならず年度途中でも確認し、より質の高い保育をすすめていく。

また、特に園内研修や会議を計画的に実施し、とりわけ表現活動に関して研究を深め保育力を高めていく。

③ 良好なコミュニケーションと意欲の持てる職場づくりをすすめる

職員それぞれの保育経験をいかし、学年会議等では保育内容や個々の子どもの成長・発達を支える喜びを感じながら、話し合いを深めていくことができた。特に、中堅職員が増え、それぞれの持ち味を発揮し、会議の場での発言や子どもに関する話し合い等でも意見を出し合い、職員が協力しあって保育に臨むようになってきた。

今後は、キャリアパス制度に基づいた職位に基づき、自分の役割を理解して業務を遂行できるように努力する。

《 野のはな空のとり保育園 》

① 園のコンセプトに基づく保育計画の作成と実践

全体会議やクラスミーティングで、園のコンセプトを共通理解する機会をたびたび持った。マネージメントサイクルはクラスリーダーを中心に確実に行った。午後の活動の振り返りも意識して、翌日の活動に活かせるようにした。

ケーススタディを通して、個別の事例の中に通じる普遍的な事項を確認し、学びを深めた。

② 良好なコミュニケーションと意欲の持てる職場づくりの推進

クラスミーティングを充実させることを意識した。若い職員の意見を引き出す工夫をすることで、話し合うことの大切さを再認識した。また、リーダー会議をとおして、各リーダーが一体となって園運営を支える意識が高まった。

伝達ミスがあった際には、状況を分析し、同じミスをくり返さないよう確認し、報告・連絡・相談の重要性を改めて全員で確認した。

③ 長期的な展望に立った厨房設備の見直し、検討をおこなう

厨房設備業者3社のプレゼンテーションの結果を踏まえて、業者選定を行った。平成30年夏に工事を行なうことを踏まえて、電気、水道、ガス業者とも打ち合わせを行った。

栄養士はコンベクション使用体験研修に参加し、導入後の円滑な業務改善の準備をすすめている。

【地域支援部門】

《 コミュニティラボ にこにこのたね 》

① 「ふたつの芽」の参加希望者・・・平成29年度－89組、平成30年度－59組と少し減少している。原因としては、他の園は秋にプレ幼稚園の申し込みがあり、そちら

にすでに申し込んだ方が多くいたことと、「ふたつの芽」も抽選ということが考えられる。それでも「玉成幼稚園につながりたいから」「ひろばに参加していて子どももたのしんでいたの」と希望してくださる方は多くいて、平成30年度も各回13組＝39組の方に入っていただくようになった。(5月よりスタート)

- ②「親子ひろば」には、0歳の小さな子どもも通うことができるので、小さくて4ヶ月の子どもを連れて参加する様子も見られている。一時のように、1回に30組と多く参加があることはなくなり、10～15組がゆったり多目的室で過ごすことができている。

「ふたつの芽」募集の際に、アンケートをお願いしたところ、「ひろばでの先生の対応がとてもよかった」「遊具がよいものがそろっている」「子どもがたのしみにしている」などの声が多く聞かれた。「健康相談」や「離乳食相談」なども定期的に続けていて、気軽に相談できる場になっている。

- ③「園庭開放」は、希望が多く、幼稚園の子どもたちと一緒にあそぶことが、保護者の方にとっても子どもたちにとってもうれしい様子。幼稚園の様子やあそびの様子、先生たちの対応なども、保護者の方はよく見てくださっていて、質問などもあり、幼稚園を知るきっかけにもなっている。

- ④「妊娠中のお母さんの子育て体験プログラム」の参加者は多くないが、参加した方は、子どもたちに触れ、笑顔で帰られている。また保育園を利用しようと思っている方の参加もある。

- ⑤「講座ぽるた」は、「つみきであそぼう」「絵本をたのしもう」「保育園の人気レシピをつくってみよう」を継続しておこなった。新規に「親子でクッキング・・2歳のおにぎりづくり」「えほんの読み聞かせー12回」をおこなった。卒園児の保護者も「保育園の人気レシピの講座」や「絵本をたのしもう」の講座に参加してくださるなど、つながりを大切にしていきたいと感じられた。

(2) 施設・設備等教育環境の充実

- ・平成29年度中における学園の施設、設備等の教育環境整備を以下のとおり実施した。

施設面では、昨年度に続く創立100周年記念事業として寄附金を募り、第Ⅱ期園庭整備事業及びアルウィン記念室改修事業を実施した。

園庭整備については、水捌けや砂飛びを防止するため、園庭の周囲に新たに側溝を敷設し、既存の側溝との間をゴムチップ舗装とした上で、園庭の土の入替えを行なった。

また築山に枕木や木柵を設置し、レンギョウのトンネルなど周囲に低木の植栽を行い、緑の面積を増やした。

その他、玄関のコンクリート打ちの部分を拡大、もみの木の廻りにサークルベンチを設置、多目的室前の既存のアスレチックを一部改修すると共に一体化した花壇を設置し、ウッドデッキで休めるようにした。

アルウィン記念室については、アルウィン先生が使用していた机や椅子などに合わせて、壁、床、照明など内装を統一し整備することで、記念館として公開できるように改修した。

〔学園共通〕 創立記念事業

- ・施設 ①園庭整備工事 14,570,280 円
実施設計・監理・サイン等 (株)こどもみらい
園庭外溝・植栽工事、エントランス部改修 東和ランドテック(株)
園庭遊具改修工事 群馬県森林組合連合会
園庭木柵設置工事 //
- ②アルウィン記念室改修工事 4,400,000 円
内装工事 (株)佐藤工務店

〔専門学校〕

- ・備品 スタッキングチェア(34脚)、ノートパソコン(3台)、Subgate一式、スポットライトスタンド 計 1,271,700 円
- ・修繕 学校2階トイレ便器パッキン交換・目隠し工事等、非常用照明灯交換、エアコン冷媒管ラッキング工事、階段廊下壁紙張替え、受水槽清掃、雨水排水立管取替工事、火災報知機配線改修他 計 2,396,104 円

〔幼稚園〕

- ・備品 引き出し棚、にじ床暖房ボイラー 計 630,800 円
- ・修繕 絵本のへや額縁修理、ひかりにじロールスクリーン等修理、砂場管理、保育室各種備品修理、保育室トイレプッシュボタン交換、ヤマハプール使用前点検、ホールマイク修理、受水槽清掃、園庭遊具修理、園児用椅子修理、雨水排水立管取替工事他 計 1,741,797 円

〔保育園〕

- ・備品 2歳児カーテン、ビーズクッション 計 272,603 円
- ・修繕 厨房水栓取替工事、幼児用シンク修理、エアコン冷媒管ラッキング工事、受水槽清掃、外階段塗装、通路外灯新設工事、入口落とし棒修理、雨水排水立管取替工事、保育室エアコンファン修理他 計 996,510 円

〔法人〕

- ・修繕 柱時計修理、金庫シリンダー修理、空調ダクト冷媒管修理、受水槽清掃、湯沸し器ホース修理、雨水排水立管取替工事
計 84,124 円